

甚老連ニュース

第12号

<掲載記事>

年頭の挨拶	-----	1	ページ
日本棋院への後援承認申請に関する件	-----	2	〃
八王子市教育委員会への後援名称使用承認申請に関する件	-----	3	〃
NTT囲碁トーナメント全国大会観戦者招待について	-----	4	〃
団体対抗戦の参加者報告に関する件	-----	4	〃
甚老連の八王子名人、主座、天狗戦の中止に関する件	-----	5	〃
浅川昇囲碁同好会の名人、主座、天狗の発教	-----	5	〃
ボケ防止のための啓発囲碁大会の開催用チラシの原案	-----	5	〃
ボケ防止のための啓発囲碁大会の対応策について	-----	7	〃
〃ボケ防止と囲碁〃の記事を甚老連ニュースに掲載の件	-----	8	〃

発行日	平成3年1月11日
発行所	八王子の碁を築く老人連
〒193	八王子初沢町1434-1
TEL	0426-66-3754
発行人	熊崎正一
編集人	福田雅博

新年おめでとうございます

旧年中はいろいろと御世話になり有難うございました
 本年はボケ防止のための啓発囲碁大会(毎年実施予定)
 を契機として甚老連の設立目的達成のための第一
 歩を踏み出すことになりましたので、尚一層の御協力
 と御指導を賜りますよう御願い申し上げます。

平成3年元旦

八王子の碁を築く老人連	会 長	熊 崎 正 一
浅 川 昇 囲 碁 同 好 会	大会委員長	加 藤 春 一
田 木	〃	益 子 好 三
大 和 田	〃	八 木 義 光
元八王子	〃	島 居 礼 次 郎
子 安	〃	石 井 勇 二
中 野	〃	佐 藤 貞 人
長 斎	〃	小 川 勇 友
由 井	〃	正 木 正 友
北 野	〃	熊 崎 正 一

御挨拶

沢山の方々より賀状を頂戴し、誠に有難い次第と感謝しております
 早速礼状を出すべきではございませが、失礼させて頂き、本誌上により
 遅らせて頂くことに致しました。昨年来、人間関係に感情的な縛りが
 会の運営に支障を来す懸念が認められ、とらえざるを得ず、甚に身念することと
 不関係な病氣見舞、年賀等の御付合いは見合わせることに致しました。次第で
 義理を欠くことになるかも知れませんが、思いつくす御承下さい。

日本棋院への後援承認申請に関する件

去る12月4日付を以つて、財団法人日本棋院理事長 朝田静夫殿宛にて「基老連の囲碁大会についての後援承認申請に関する件」を次のような内容により提出致しました。

記

貴院普及部には、基老連関係の創立記念囲碁大会(2年1月28日)と定例基老連囲碁大会(2年8月26日)及び、NTT敬老囲碁大会(2年9月16日)に対する後援の三大会に対し、格別な御高配を賜りましたが、改めて御礼を申し上げます。

さて、平成3年には、事業目的達成のため、いよいよ本格的な活動を開始することになりました。

就きましては、下記のような囲碁大会に対し、貴院よりの御後援を期待致しておりましたので、是非共御協力下さいませよう御願い申し上げます。

記

1. 取りも頂みでは省畏す所。

2. 昭和3年の囲碁大会について。

(1). 基老連団体対抗囲碁大会(公算のみ対象)

対抗戦スケジュール及び大会処理要領関係は省畏す所。

(2). ボケ防止のための啓発囲碁大会(老人全員対象)

大会スケジュール及び大会処理要領関係は省畏す所。

(3). 入生年次総合福祉センター用館記念祝賀囲碁大会(老人全員対象)

平成3年7月開館予定となっており、大会開催については御了解頂いているが、その内容については、来年4月頃には確然出来るもの御意向を伺っております。

大会開催の場合の希望条項は省畏す所。

(4). 基老連定例囲碁大会(公算のみ対象)

大会処理要領関係は省畏す所。

(5). 敬老囲碁大会(老人全員対象)

本大会は、現在主催決定となっておりませんが、前回同様基老連後援の名目により競技関係全般を基老連が担当し、冠大会とする予定です。

追 申

後援承認申請とは関係ありませんが、囲碁新聞に掲載中の「ボケ防止と囲碁」の記事を基老連ニュースに転載したいので、御世話頂けませんでしょうか。

但し、謝礼については予算がありませんので、無償と云うことで「御承認頂ければ幸いです。」

以上

上記申請に関し、福本普及部長殿より、去る12月26日、次の通り承認の方旨、御連絡を頂いた。

1. 囲碁大会に関する後援名義使用の件は承認する。

2. 「ボケ防止と囲碁」転載の件は、「週刊囲碁新聞承認」の文章挿入を条件として承認する。

(2)

八王子市教育委員会への後援名義使用承認申請に関する件

ボケ防止のための啓発囲碁大会に対し、市教育委員会の後援承認を得るために申請書を提出しておりました所、下記の通り御承認を頂きました。

尚、其の節、基老連の動向からすれば、市の後援を求められる方がより適切ではないかと思われらるので、今後は、総務部庶務課へ後援申請をされるには如何と御指導を頂き担当者を御紹介して頂きました。

12月25日、総務部庶務課へ参上し、御担当の方にとりあへず、関係書類を御渡して御挨拶申し上げました。

寿囲碁同好会	市民センター	申請日	承認日	名義の使用期間	開催日時
浅川	浅川	2/11/27	2/12/4	2年12月10日～3年3月10日(91日間)	3年3月10日 <small>午前7時30分～午後6時</small>
由木	由木中央	"	"	2年12月20日～3年4月20日(109日間)	3年4月20日
大和田	大和田	"	"	2年12月20日～3年4月21日(123日間)	3年4月21日
元王子	元王子	"	"	2年12月20日～3年5月5日(137日間)	3年5月5日
子安	子安	2/12/4	2/12/21	3年1月7日～3年5月19日(133日間)	3年5月19日
中野	中野	"	"	3年1月16日～3年6月2日(138日間)	3年6月2日
長茂	長茂	"	"	3年1月26日～3年6月16日(142日間)	3年6月16日
由井	由井	"	"	3年3月1日～3年7月7日(129日間)	3年7月7日
北野	北野	"	"	3年3月1日～3年7月21日(143日間)	3年7月21日

NTT囲碁トーナメント全国大会観戦者招待について

首題の件に関し、去る12月25日NTT八王子支店より、平成3年2月3日の決勝戦に、基老連関係で10名招待したいとの御連絡がありましたので、次のような条件で選考し、本人の確認を得て申込書を致しました。

記

1. 選考基準

- (1). 2/9/16のNTT敬老囲碁大会参加者
- (2). 各寿囲碁同好会より1名
- (3). 平成3年開催予定のボケ防止のための啓発囲碁大会委員長
- (4). 80才以上の会員より1名
- (5). 基老連会長代行として世話人1名

2. 観戦参加申込者

同好会別	氏名	選考基準	同好会別	氏名	選考基準
浅川	3名 加藤春一	大会委員長	長茂	2名 松井豊	副会長
元王子	2名 高橋重二	"	中野	5名 佐藤真人	大会委員長
子安	5名 榎本繁吉	会長	由井	2名 正木正友	"
大和田	2名 八木義光	大会委員長	浅川	5名 保原野正清	80才以上
由木	初名 益子好三	"	"	2名 大所京樹	世話人

団体対抗戦の参加者報告に関する件

平成3年2月24日のオノ回対抗戦に参加する各クラス代表に関しては、基老連ニュース掲載の都合上、来月2月1日(毎月1日とする)必着に大町御報告願います。

尚、基老連ニュースオノ号に掲載の「基老連団体対抗戦の実施要領」により、各チームは、世話人/名を参加させ、取組み年配及び対戦成績の報告を行うと共に、棄権者が出た場合の代替者として充当されるよう御午既願います。棄権による負教子はチーム成績に影響があるので御注意されたい。

基老連の八王子名人、王座、天狗の決定戦中止に関する件

基老連の競技に関する内規による1月開催の決定戦は、2,3の寿囲碁同好会が実施していないので不揃いの状態となっており、Eをを得ず本年は中止することに決定されたから、悪しからず御了承下さい。

尚、平成4年には情勢の如何に抱らず、規定通りに開催することになりましたので、各寿囲碁同好会は、リーグ戦、トーナメントA及び、トーナメントBを必ず実施して下さい。

浅川寿囲碁同好会の名人、王座、天狗の発表

1. 名人決定戦(総当りリーグ戦)

回数	開催期間	名人氏名	
第1回	63年9月～12月(秋期)	橋場政明	初級
2	元年3月～6月(春期)	梅田昭二郎	5〃
3	" 9月～12月(秋期)	松井 豊	初〃
4	2年3月～6月(春期)	興村 章	2〃
5	" 9月～12月(秋期)	松井 豊	〃〃

2. 王座決定戦(トーナメントA)

回数	開催月	王座氏名	回数	開催月	天狗代名	
オノ回	元年1月(前期)	片岡健一郎	2級	オノ回	元年2月(前期)	梅田昭二郎 5級
2	" 7月(後期)	橋場政明	"	2	" 8月(後期)	鈴木謙一 2〃
3	2年1月(前期)	興村 章	"	3	2年2月(前期)	中島義彦 初〃
4	" 7月(後期)	大河原 輝	"	4	" 8月(後期)	山宮克巳 4〃

(4)



碁の防止のための

開催日時	平成30年3月10日 午前9時30分より午後6時まで。
開催場所	浅川市民センター (番尾町165-1、電話66-4700)
主催	浅川寿園碁同好会
共催	八王子の碁を楽む老人連合(碁老連)
後援	八王子市教育委員会、八王子市所会総連合会 浅川住民協議会、 財団法人日本棋院

参加資格及び条件。

- (1) 下記地域内に在住している60才以上の囲碁愛好者。
市の浅川事務所、館事務所の両管内及び、めじろ台、狭間所、元八王子町3丁目。
- (2) 申込み段・級位について。
通常使用している段・級位を原則とする。
尚、大会用として特別な段・級位で申込みをした場合、異議の申立てがあった時は、失格となることがあり得るため、特に御注意願います。
- (3) 参加者限度について。
申込み順に受け付け、次に定められたクラス別定員を超過した場合は、残念ながら打ち切らせて頂きます。
但し、人員調整上、他クラスへの編入もあり得るものとする。

A 級 (4段~7段)	定員	32名
B 級 (2段・3段)	"	"
C 級 (初段)	"	"
級 A 級 (1級・2級)	"	"
級 B 級 (3級~5級)	"	"
級 C 級 (6級~10級)	"	64名
		合計 224名

参加費 4100 (弁当は各自所持下さい)
競技方法

- (1) 前記6クラス別に、トーナメント方式により決勝戦を行う。
- (2) 1回戦敗者は、敗者復活戦に回る。
尚、2敗者は、決勝戦に参加出来ない。
但し、敗けても遠慮なく棄番で御座し下さい。
- (3) 勝者戦の代表と敗者復活戦の代表により優勝戦を行う。
- (4) 3位決定戦を行う。



(5)

啓発囲碁大会



表彰 各クラス別3位までを入賞者(18名)とし、賞状を授与する。特典について。

本大会の成績順位により、下記大会の決勝戦への参加者推薦を行う。
7月開催予定の総合福祉センター開館記念祝賀囲碁大会(碁連主催)
9月開催予定の敬老囲碁大会(碁連協賛)

応募について。

(1) 申し込み手続き。

往復ハガキにより、下記条件を記入する。

尚、返信ハガキには、御自身の宛名を書いておいて下さい。

氏名、生年月日、住所、電話番号、級位、筆当希望(300円位)

(2) 締切日 平成3年3月1日(金)必着

(3) 応募先 浅川寿囲碁同好会 大会委員長

〒192 高尾町1944 九日 藤 春 一 番 61-1548

囲碁を御覧になる方への御願い。

線が引いてある部分をメモして頂いて、碁がお好きなおじいさん、おばあさん、お父さん、お母さんにお知らせ下さい。

ボケ防止には碁が一番

ボケの悲惨さについては、先刻御承知の通りですが、本人だけの問題ではなく、家族全員が苦勞することになります。

ボケてしまってから慌ても後の祭で、医療による治療は効果がありません。結論として、ボケを防ぐためには、事前に脳の活性化を図ることのみが解決策だと云うことのようにです。

解決手段としては、「碁を打つこと」が最善策であり、このことは既に医学的にも立証されております。

即ち、「一生懸命考える」、「指先を常時動かす」、「競技特有のフィット」と三拍子揃っているのは囲碁しかありません。

このような特技を身につけていらしゃる、おじいさん、おばあさんに對し、御家族一体となつての御挨拶を期待している次第です。

(6)



ボケ防止のための啓発用碁大会の対応策について

1. 碁老連より次のような大会関係書類を送付する。
 - (1). 八王子市教育委員会の名義使用承認書
 - (2). 大会の実施要領
 - (3). 大会に関する役員会の議決関係書類
 - (4). 大会の計画案
 - (5). 大会関係の管内所会長明細
2. 大会開催に伴う関連先への手配。
 - (1). 住民協議会長と連合所会長への後援申請と回覧用チラシの配布依頼及び手続き等の打合せ。
但し、後援依頼については、無理強いはいは慎み、先方様の御意向に添うようにして下さい。
 - (2). 市民センターへの大会開催のための施設使用許可申請。
3. 部内関係
 - (1). 大会委員長の任務。
 - イ. 前二項に関する手配
 - ロ. 大会参加申込みを受理し、申込締切(期日厳守)後、遑滞なくクラス別参加人員を碁老連に報告する。
尚、大会成績表、対局票及び関係書類や記事等の作成は碁老連が御手配致します。
 - ハ. 競技委員長及び、競技委員の名を任命する。
 - ニ. 弁当の調達(300円位)
 - ホ. 大会成績と完了報告を遑滞なく碁老連に行く。
 - ヘ. 後援者に、大会終了報告の御挨拶を行う。
 - (2). 競技委員長の任務。
 - イ. 大会当日の会場整備及び整頓
 - ロ. 大会で使用する碁セットの引取り及び返却。
碁セットの借用手配は碁老連が行う。
 - ハ. 競技委員は、他の同好会主催の大会に、次の通り運営委員として出向し、競技全般を差配すると共に、受付業務も担当する。
 - ①. 参加費(4,150)と引替に対局票を渡す。
 - ②. 弁当は4,300と引替に渡す。

大会開催日	大会別	運営担当	大会開催日	大会別	運営担当
3月10日	浅川大会	由井 競技委員	6月2日	中野大会	子安 競技委員
4月4日	由木 "	浅川 "	6月16日	長寿	中野 "
4月21日	大和田 "	由木 "	7月7日	由井	長寿 "
5月5日	元八王子 "	大和田 "	7月21日	北野	浅川 "
5月19日	子安 "	元八王子 "			

「ボケ防止と囲碁」記事の転載 御報告の件

本件は、週刊「囲碁新聞」9月18日号より20回の予定で掲載されているものですが、この度、日本棋院の御好意により御承諾を得ましたので、今回より碁光連ニュースに転載させて頂くことになりました。

囲碁愛好者にとっては貴重な文献と云うべきものです。

囲碁は、「一生懸命考える」、「指先を常時動かす」、「競技特有のフィット」等が、ボケ防止には囲碁が最高と評価されている所以ではないでしょうか。

「驚異的な脳の活性化について」

ボケ防止と囲碁 ①

折茂 豊 (東大医学部教授)

石倉 昇 (棋士・七段)

碁を打っているとほけない

平均寿命世界一、老人大国の仲間入りをした日本で、脳の老化による、いわゆる「ぼけ」は、大きな社会問題になるようになっていきます。脳の老化は、だれもが、漠然とした不安を抱きながらも、なるべくなら考えたくないことがらでしょう。

けれども、最近、次第に、この「脳の老化」の正体がわかり始め、同時に、いろいろな老化防止策が実践されるようになってきました。碁の効用も、注目されているもののひとつです。

私が、お手伝いさせていたにている、渋谷にある石倉七段の囲碁教室にも、大勢のお年寄りの方がいらっしゃいます。若い方から打ち続けられている方も、定年退職を機にしばらくふりに碁を握る方、これまで碁に触れることもなかったけれど、老後の楽しみにと始められた方……きっかけはさまざまです。

「碁を打っているとほけないと聞いたので」とおっしゃる方もいます。また、脳卒中や心臓病

作などの大病をされ、リハビリの一環として勧められて打つようになった方もいらっしゃいます。初級者から高段者まで、棋力の方もさまざま。そうした方々に接して、何より驚かされることは、皆さんの「お年を感じさせない若さ」です。

囲碁がリハビリとして効果がある、脳の老化防止に役立つといったことは、医学的にどのくらい裏付けされていることなのでしょう？ こんな疑問を抱くようになりました。

東大医学部で老人病を専門に研究されている折茂教授は、十年ほど前から、石倉先生について碁の勉強を続けられ、お忙しい時間を割いてもこれだけは休んだことがないというほどの碁ファンでいらっしゃいます。これから、折茂教授に専門的なお話を、お伺いして、碁の効用を、20回にわたって、具体例とともにご紹介していきます。と思います。

(構成・高見亮子)



石倉昇七段



折茂豊さん

「驚異的な脳の活性化について」

ボケ防止と囲碁 ②

折茂 豊 (東大医学部教授)

石倉 昇 (棋士・七段)

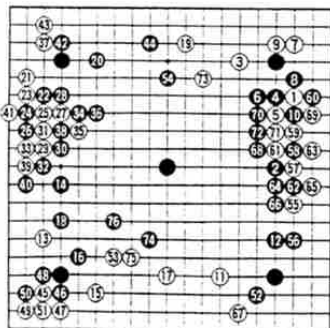
70歳から碁を始めて三段

「毎日、今日生まれたから」石倉先生に紹介いただいた海野直さんは、そうおっしゃってほほ笑む笑顔の、とてもすてきなお婆あちやまです。70歳から始め、現在82歳で三段。海野さんは、60歳ごろまでピアノが好きで好きで夢中で弾いていらつしゃったそうです。それから主人の看病でなまじり、そして、70歳になつたとき、何か夢中になれるものをと、碁を始めたのだそうです。

ピアノを弾いていた、と聞いて、石倉先生は大きくうなずかれました。「どうりで海野さんの碁はリズムミカルなのですね。」さて、

図は、8月×日、五子局で石倉先生に挑戦した海野さんの棋譜です。黒54、68は、中央を絵を描くようにまとめていく、海野さんらしい着手。白73と黒の模様に出したとき、黒はノータイムで74。これが、

下辺の白へのツケ



と封鎖を見合にした絶妙の好手でした。

「はじめはなかなかわからなかったわ、それが嫁のいるパリで1か月半ほど、遊び歩いたことがあったの。よっぽどせいせいしたんでしょね、その間、石も握らなかつたのに、帰ってきてみたら力がついてるのよ」それから、海野さんは、碁にとりつかれたようです。「きりがなく面白いわ」碁。「ちょうど娘ぐらゐの年」のおおせいのお友達、海野さんのお話は聞いていただけで元気です。「少しでも去年より進歩すれば」という前向きな姿勢が、健康の秘密だと思います。

(構成・高見亮子)